

三重県私費海外留学生体験記

森山 貴也さん（アメリカ・テネシー州）
セイントジュード・チルドレンリサーチホスピタル
医学博士取得コース 薬学科

2015年9月掲載

・専攻していた科目の学習内容、成績について

三重大学大学院生として籍をおきながら St Jude Children's Research Hospital へ研究留学をしています。研究内容としては、小児白血病の中でも最も頻度の高い白血病を対象に研究テーマとしており、薬剤の使い方を工夫することで治療成績を向上させることを目的としています。本レポート作成段階では論文作成に至っていませんが、大学院卒業の2016年3月までには研究内容の報告ができるように研究を継続しています。

・今後留学を考えている人へのアドバイス、心構えとして伝えたいこと。

留学に際しての不安もあるかもしれませんが、留学を実現する可能性があるのであればぜひチャレンジして下さい。また実現した際には、自分を支えて下さるご家族などもあるかと思しますので、感謝の気持ちを忘れずに毎日を過ごしていけたらと考えます。

2015年2月掲載

・専攻している科目の学習状況について

小児白血病領域で頻用されている、チオプリンという名前の薬剤についての研究を引き続き行っています。現在は主に、①薬剤耐性をもたらす遺伝子とその機序の解明、②薬剤感受性の個人差をもたらす原因遺伝子の解明とその機序、の2点についての研究を主に行っています。①については分子生物学的なアプローチを用いながら、顕微鏡レベルでの研究にて徐々に機序が明らかになりつつあります。②については、特にアジア人は欧米人と比較して薬の効きが強くなる傾向があることがわかってきており、その原因遺伝子も特定しております。今後は、実際に使用する前に、副作用が出現しないよう薬用量の情報を臨床現場に提供できるようにするため、その手法を確立することを目的としています。これにより、不要な副作用を避けつつ、十分量の薬物量を使用できることが期待されています。

・ボランティアやアルバイトなど、どのような学業以外の活動をしていますか。

大学/研究施設での研究以外には、学会への参加を行っております。特に毎年12月にアメリカで行われる血液学会には、アメリカだけでなく日本も含めた世界各国から、多くの研究者が自身の研究発表をされます。その学会に参加をし、日本国内と St Jude Children's Research Hospital との国際共同研究のミーティングも執り行う予定となっております。

ります。

またそれ以外には、現在 holiday season であることから、各国の方々と食事をする機会があり、そのような場には積極的に参加をし、お互いの文化や食事の紹介なども行っております。同様に教会で催されている英語教室への参加も継続しており、渡米 2 年ほどになります。参加回数の意味でベテランになってきています。

・三重県や日本の文化や習慣等について紹介する機会はありますか。

上記内容と重なる部分がありますが、各国の方々と「ポットラック」という食事持ち寄りの会に参加することが多く、そのような場所では日本の料理を紹介することを行っております。また現在の研究室の上司が先日三重に訪問される機会があったため、伊勢神宮、おかげ横町、京都の町並みなどの紹介もさせていただきました。

本年の夏には、日本祭りのようなものもあり、食事以外にも剣道、餅つき、漢字の紹介等も行っていました。特に漢字については、とても珍しいようで名前を漢字で書くと、とても喜ばれていらしかったのが印象的です。

2014年10月掲載

・あなたの留学の目的は何ですか。

日本では実行困難なトランスレーショナルリサーチを行い、可能な範囲で日本、三重へ導入することです。

・専攻している科目の学習内容について書いてください。

小児白血病において使用される「チオプリン製剤」という薬物について、薬の耐性機序の解明及び新たな治療薬の発見を目的として研究を行っております。最終的には、本研究を臨床応用できたらと考えています。

・留学大学に入学するにあたり、どのような手続きやテストが必要でしたか。

受け入れ研究室の上司と、電話にてインタビューを行いました。

・留学校を決めるにあたって利用した資料や機関はありますか。

「PubMed」を用いて、自分の興味のある研究を積極的に行っている研究室を検討しました。

・現在の留学校に決めた一番の理由は何ですか。

本施設が、小児白血病研究において世界一の施設だからです。

・昨年度、あなたが関わった国際交流・貢献活動について教えてください(ボランティア活

動など)。

教会のイベントで、日本の伝統文化として将棋を紹介させていただきました。